

KAYUKAI

香友会だより

あいさつ

同窓会会長
松本 康範

平成二十九年度香友会総会の役員改選において前会長谷本智昭様のご勇退に伴いまして、会長に選任されました。

松本康範と申します。

歴代の会長は経験豊富な方々が務められています。私のような経験不足な者がお引き受けるには責任が重く躊躇しましたが、少しでもお役に立つことができればと思い、微力ながら力を尽くさせていただきます。

本校は明治四十四年三月に香川郡立香川実業高校として創立され、県立農業学校、県立農業高等学校時代は下って昭和二十四年四月に県立香川高等学校に名称変更され、本年で七十年を迎えました。そして昭和四十四年四月に県立高松南高等学校に名称変更に至り、本年で五十年の節目を迎えることになり、記念行事を

検討し、九月八日(土)の南高祭公開日に中国雑技団の公演を(内容は「変面」)計画しています。妙味あふれる演武、その他を楽しみにしていただく。また当日は香友会総会懇親会も開催しますので、みなさんお誘い合わせの上、ご出席くださいますようお願い致します。

さらに本校の誇るべきことは、文理・総合・実務コース統括する普通科をはじめ、都市園芸・土木コースの環境科学科、健康栄養・服飾デザイン・保育子ども文化コースで学ぶ生活デザイン科、そして看護科、福祉科の四科を擁する専門学科の存在です。その実績は著しく、昨年度も看護師、介護福祉士、測量士補の各国家試験に於いて全員合格の快挙を成し遂げる等、枚挙に暇がありません。これは先生方の真摯な薫陶によるものでしょう。

昨年二十九年度十月着工の新校舎も本年の十二月には竣工予定です。三階建て面積一三七一・一八平方メートル、延床面積二二八七・〇平方メートルです。完成予想図を見ますと、超現代的でまことに斬新なデザ

インです。

南に面する幅広くなった正門は一宮公民館の跡地の所管換えによるものです。体育館も南北二棟備わり南ウハウンドの防球ネット及びフェンスも改修しています。敷地面積は実に三五九三・三九平方メートルで、県内屈指の規模と称しても過言ではありません。

今日あるを感謝し
最善を尽くして
日々に進むべし

の教訓が一層輝きを増すことでしよう。自ら学び自ら考える後輩たちの将来が楽しみです。

今、一度新しい学び舎の椅子に座ってみたい気持ちすら致します。

同窓会の皆様、お近くにお越しの際は、ぜひともお立ち寄りください。最後に重鎮で経験豊かな谷本智昭前会長様のご苦勞に満腔の謝意を表し、挨拶の結びと致します。



発行者

香川県立高松南高等学校
同窓会会長 松本康範
香川県高松市一宮町531
印刷所 (株)中央印刷所

あいさつ

校長
平畑 博人

香友会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。日頃から南高校の教育活動に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。4月に坂出高校から異動して参りました。よろしくお願い致します。

実は私、南高校の勤務は二度目です。もう十二年ほど前になります。平成十七年度と十八年度の二年間、教諭(教務主任)として勤務していました。専門教科は商業で、看護科や農業土木科、環境科学科で「情報」の授業を担当していました。

当時のことを思い出しても懐かし、南高校での勤務を楽しみにして赴任したところ、その頃に教えた生徒が南高校の教壇に立っていることを知りました。「先生のこと思い出しました!」と言われたときには、とても感激し、教師を続けていて良かったと心底思いました。ひよっとして今、この「香友会だより」を手

に取って読んでいらつしやる方の中

にも、「あの時の...頭に怪我をして一か月くらい包帯をグルグル巻きにしていた人では?」と心当たりのある方がいたりして...などと、内心ドキドキしています。南高祭など学校が開かれている行事もありますし、農産物も変わらずに販売しています。香友会の総会の際でも構いません、「初めまして!」の方もそうでない方も、是非学校にいらして声をかけていただければこんなに嬉しいことはありません。

さて、ご承知のように、南高校は現在校舎改築の第二期工事中で、今年度中の竣工を予定しています。旧本館の改築から数えると約十年の歳月をかけて、新しい南高校が誕生することになります。古い校舎の取り壊しや跡地の整備など、まだしばらくは工事現場の様相ですが、香川高等学校から七十年、高松南高等学校から五十年の年に新しい南高校の誕生をみることに、とても運命的なものを感じます。

新聞やテレビの報道でご承知の方も多いと思いますが、昨年度も部活動等で南高生が多く活躍しました。主な成績はこの「香友会だより」の中に記載されていますので、ゆっくりとご覧ください。今年度ももうすぐ県高等学校総合体育大会など多くの大会が始まります。朝早くから夜遅くまで、生徒たちは自分の夢の実現に精一杯の努力を重ねています。どうか、後輩たちの活躍にご期待ください。

結びに、香友会会員の皆様のご健勝と香友会の益々の発展をお祈りし、挨拶とさせていただきます。

南高百景

北グラウンド



「南高百景」も5回目となります。今回のテーマは「北グラウンド」です。

正門を入りまっすぐに進み、第二校舎を抜けたところに北グラウンドがあります。広さはサッカー正規フィールドの半分ほどです。体育の授業等で毎日使われているほか、放課後はサッカー部、そして西側はハンドボール部の練習場となっています。奥にはテニスコートがあり、こちらもテニス部、ソフトテニス部の生徒たちが使用しています。そしてグラウンドの奥側からは第二校舎の裏側(窓側)を見ることができ、中央には時計があることもわかります。(第二校舎の全貌を裏側からみることはあまりないですが、こうして改めて見ると、大きい校舎だということが分かります)。また、グラウンドの脇にはいろいろなものがあります。食堂棟、藤棚、くろがねもちの木など。そして何ととっても、校舎とグラウンドの間にある自転車置き場です。屋根があまり高くない、簡素な造りの自転車置き場はまさに「昭和」の香を残しており、第一、第二校舎間の自転車置き場がなくなってしまった

現在、貴重な存在と言えます。



さて、そんな北グラウンドですが、百年史を見ても、あまり歴史的に詳しい記述は見つかりません。六十年史の校内図には、家庭科や農業科の特別教室がある校舎、農具室、温室、合宿所などが認められます。これら以外のものもあつたと思われ、(私が入学した三十年ほど前には、北側にセミナーハウスのようなものがあつたと記憶しています) 現在とは違うところもあるでしょう。古い卒業生の方々が現在のシンプルなグラウンドを見れば驚かれるかもしれません。私個人の思い出になりますが、北グラウンドはもちろん体育の授業でよく使いましたが、もう一つ、「集会の場」という印象が強くあります。当時の南高は在校生三千人近くを誇るマンモス校であり、(体育館に全校生徒は入りきれなかったのかもしれませんが) 全校朝礼や文化祭の開

祭式、講話、その他全校生が集まる行事ごとはすべて北グラウンドでした。一学年が十五クラスだったので四十五列プラス専攻科が並んだ図は圧巻だったのではないのでしょうか。(私は雪が降っている日に朝礼があり、「寒いなあ」と思いながら、並んでいたことを思い出します。) その当時のものとして、グラウンドの前中央部に置かれた朝礼台があります。この朝礼台はそれらの歴史を見続けてきたのだと思います。

あまりにも当たり前すぎるとその存在を意識することが少ないのですが、前回取り上げた北体育館が「南高の父親」だとすると、この北グラウンドはまさに「南高の母親」的な存在といえるでしょう。長い歴史を持ち、形を多少変えながらも、この北グラウンドはこれからも南高生すべてを受け入れ、見守ってくれる存在であることでしょう。

香友会事務局 亀田 直樹



支部だより

〈関西支部だより〉

関西支部事務局長 長尾 由孝

関西支部総会は隔年に開催しています。昨年平成二十九年十月十五日、

大阪市中央区道頓堀二丁目の道頓堀ホテルに於いて開催しました。当日は香友会の松本康範会長をはじめ、母校の梶正司学校長、事務局の職員四名のご出席を賜りました。

総会は永年にわたり関西支部の充



実と発展に尽力いただき常にリードして来られた太田喬支部長と中澤正信新支部長の引継ぎ新旧交代の場でもありました。

四十校を超える関西における「香川県高校同窓会連絡協議会」が毎年一回香川県人会の主催で開催しています。必ず出席して他校と意見交換、情報収集をしており、共通の課題は会員の維持、確保並びに若い世代の参加促進方策です。当方は新会員の確保が必携。その年に卒業する生徒に関西支部を紹介、PR出来ないかと思案しています。

三時間を超す総会、懇親会も恒例のカラオケ、豪華な景品によるビンゴゲームと共にあつという間であり、出席者からは先生方から学校の近況を直接聞くことが出来、学生時代に若返った思いで時間の経つのも忘れ大変楽しく過ごすことが出来たと好評でした。先生方に感謝、感謝です。来年は第十七回の総会、懇親会を大阪道頓堀ホテルに於いて十月に開催を予定しております。

個人的な話になりますが、現在私は小さな貸農園で四季の野菜を作っています。気候土壤にも左右します

が種蒔きが数日変わることによってその後の生育・収穫に大きく影響します。農作業は自然との関わりによります。目安として、サクラの花が咲いたら…彼岸花が咲いたら…などの、農作業等地域の大先輩の言い付けを尊重しています。発芽して日々生育する不思議さと感動の喜びの連続です。無農薬栽培は当然であり、収穫即無償手渡しで近所の主婦に喜んでもらっています。このように何事も少しづつでも続けていくことが大切であります。関西支部の活動も継続していきたいと考えております。最後になりましたが母校の益々の充実と発展を心よりお祈り申し上げます。

〈一宮支部だより〉

一宮支部長 森 卓志

香友会一宮支部は、寺井町・一宮町・三名町・鹿角町・成合町の5町で構成されています。会員も三百人を超しております。

その関係から、昨年度より各町に副支部長体制を敷き、各自自治会には役員を置き、それに加えて、会計・監査役を設け、会の運営を推進しております。

昨年度は、五月に、会計・監査役・支部長で、会計監査を行いました。

七月の香友会理事会直後に、一宮コミュニティセンターの会議室をお借りし、九時より理事会、その後十時より、各自自治会の役員を加えて、二十九年一宮支部総会を開催しました。

会の内容は、「香友会だより」の配布方法、年会費の回収・お祝い・お悔やみ等の金額や、誰がお祝いを届けるか、葬儀には誰と誰が参列するか等について打ち合わせを行いました。

その後、近くのファミリーレストランで、懇親会を兼ねて、会食を行いました。

その席では、高校時代の話題や、母校の各部の活躍で話が盛り上がりつつありました。

最後になりましたが、母校の生徒、先生方、及び一宮支部会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。母校の各部の益々のご活躍を祈念しております。

会員各位

一宮支部長 森 卓志

高松南高等学校同窓会一宮支部総会ご案内

向暑の候、会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

標題の同窓会一宮支部総会を下記のとおり開催します。

会員多数お誘い合わせの上ご参会下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 日時 平成30年9月8日(土) 15:45～

2. 場所 田村神社会館(一宮町)

3. 内容

1. 開 会
2. 支部長あいさつ
3. 来賓祝辞
4. 議 事
 - ・会務報告
 - ・決算承認の件
 - ・予算書承認の件
5. 閉 会

卒業生リレー寄稿 ⑭

「訪問看護との出会い」



昭和62年3月
専攻科衛生看護科卒
地域医療機構つり病院
附属訪問看護ステーション
管理者
香西恵利子

昭和62年3月に衛生看護科専攻科を卒業し今年で32年目を迎えました。学生時代を振り返ると目立った活躍もなく、たまたま国試に合格し、何となく世間一般の流れに沿って現在の病院に就職しました。配属先は病棟勤務、そこで切磋琢磨しようと考えていた私でしたが、26歳で結婚しそして3人の子どもに恵まれ、ごく普通の生活を送っていました。

在学時代に『生きる』とはというテーマで作文提出があり「死ぬと死ぬために生きる」と一筆だけ書いた自分を思い出しました。職員室に呼び出された私は、生意気に、死ぬ時に自分の人生がよかったと思えるために今を生きてと答えました。そして、人間関係に悩んだ時期もありましたが、自然に生きようと卒業式の日に思いました。その時、おぼろげながら今の訪問看護に対する基となるものが見えてきていたのかもしれない。

ません。しかし、平穏な生活を送っていた私は、現実の忙しさにそれを長年封印してきたのかもしれない。今から13年前訪問看護に出会い、最後の一息まで精一杯がんばる患者さんに出会い、同校の卒業生スタッフに出会うまでは。一つ一つの命をみつめる事、お互いの個性・輝きを増やす事の大切さに気づけなかったと思います。「死ぬとき後悔のない生き方を自然に送る」これは、訪問看護をすることにより、在学時代に自分の中におぼろげだった気持ちに確信へとつながりました。

癌・認知症・廃用症候群という言葉は、私の中では頑張ってきた方の病気だと思っています。その方や、家族に与えられた罪でも罰でもないのです。人生のハナマルを一つでもつけてあげることができればと思います。生まれてきてよかった。この家族でよかった。そしてあなたに出会えてよかったと、思っていただけでも受け入れ真正面から向きあい、そして寄り添うたびに、やりがいと感じていく自分がある事に気づきました。訪問看護は、最高の仕事であると思います。



地点・看護師として終盤戦にはいつてきました。平成27年12月よりステーション管理者となり、看護師としてだけでなく人として何ができるか？この限られた時間を大切な仲間と命をみつめ続けたいと考えています。現在5名の南高出身者と仕事をしていきます。太田(昭和57年卒)兵庫(平成2年卒)徳住(平成13年卒)橋川(平成14年卒)林(平成20年卒)普通科)写真参照 高松に訪問看護師の人材を一人でも多く育て、自分自身も、いつか旅立つとき笑顔で迎えられるよう少し頑張ろうと思います。

「新しい出発」



昭和63年3月
専攻科衛生看護科卒
訪問看護ステーション共生
所長
橋本 志衣

2018年4月1日「訪問看護ステーション共生」をオープンしました。

私は、昭和63年3月に専攻科衛生看護科を卒業し30年間「医療生協高松平和病院」で勤務させていただきました。主に一般病棟で勤務し、様々な病気で入院してこられる患者さまと接する中で、先輩看護師から「患者さまの病気だけ見ても看護はできない、患者さまに寄り添い、声に耳を向け、患者さまの生活に目を向けて関わっていくことが大事」ということを教えていただきました。

また、一般病棟のがん終末期患者さまとの関わりの中では治療病棟の中で忙しく動き回る医療者と検査や治療に挑んでいる患者さまの方の中で、静かにひっそりとその時が来るのを待つておられる患者さまやそのご家族の孤独やさみしさに触れる機会が多々ありました。そんな中、ホスピス緩和病棟で開設準備から病棟管理者として8年間緩和ケアにかかわる機会を頂くことができました。

緩和ケア病棟での経験はとても貴重なもので、衛生看護科から専攻科で教えて頂いた「看護の基本」そのものでした。患者さまの痛みを単に「がんの痛み」ととらえるのではなく、

く、4つの視点でトータルペインとして捉え、患者さまの声に耳を傾け、価値観や自己決定を尊重するものでした。しかし多様な価値観や自己決定を支えるには病棟だけでは限界があり、「在宅でのケアを私もやってみたい」という思いはずっと心の奥で持っていました。

昨年私は50歳を迎えました。あと10年あまりの看護師人生でやり残した課題はなんだろうと考えるようになりました。そんな時、志を同じくする上司から訪問看護ステーション開設の話頂きました。今まで病院勤務経験しかない私が本当にステーションの運営ができるのかと思ひ悩みました。しかし在宅ケアをやってみたいという思いが抑えきれず、思い切って挑戦しようと決意しました。約半年間の準備期間を経て今年4月に出作町で「訪問看護ステーション共生」を開設することができました。とはいえ訪問看護はまだ経験が浅く、皆さまに教えていただくことばかりです。これから諸先輩方のお力もお借りしながら、自分が目指す訪問看護ステーションを創りあげていこうと張り切っています。



「Vプレミアリーグに参加して」



平成21年3月
家政科卒
東原 枝里

私は、高松南高校の家政科でバレーボール部でした。私がバレーボールと出会ったのは、中学生の時です。当時から背が高かった私は、とてもコンプレックスに思っていました。それが大きな武器となるバレーボールと出会ったことで私の良さだと思ふようになりました。

中学校では、試合にはほとんど勝つことが出来なかった弱小チームでした。南高校でもバレー部に入学し先生方の熱心な指導のもと、全国大会出場を目指した3年間でやっとまくなりた、もっと勝てるようになりたいとバレーボールに対する意識が変わりました。

また、私は家政科の健康栄養コースで、栄養に関する知識や調理技術などを学ぶことができたので、一人暮らしのアスリートにとって重要である食事をつくるにとっても役にたちました。

高校卒業後は、さらに上を目指すため関西の大学に入学し、その後トップリーグに所属する日立リヴァーレに入団しました。日立リヴァーレではバレーボールに集中できる環境が整っており、全日本で活躍する選手や、レベルの高い選手がたくさんいて技術面やプロ意識の高さなど学ぶ

ことが多くありました。しかし、今まで高きで勝負できていたことも通用しなかったり、試合に出る機会が少なかったりして焦りと不安で気持ちが折れそうになった時もありました。そんな時は、いつもバレーボールを通して出会った仲間たちに励まされ、試合に勝つために自分ができることは何かを考えながら前向きに日々の練習に取り組むことができた。私はブロックの精度をさらに高めたいと考え、ブロック練習だけではなく上手な選手の映像を見て研究したり、左右の動きを早くするためのトレーニングを行い、いつでも試合に出て良いプレーができるよう心身ともに準備をすることを心掛けました。そしてVプレミアリーグの試合に出て勝利したときは、楽しくてやっぱりバレーボールが好きだと感じました。

「今ある感謝し、全力を尽くし、いざ戦うべし。」高校生の時、コートに入る前に毎回言っていた言葉です。私のポジションはアタッカーでした。アタッカー一人ではスパイクで点を取ることはできません。レシーブする人、トスをあげる人が繋いで繋いでボールを持ってくるおかげです。そこがチームプレーの難しいところでもあり面白いところでもあります。毎日の練習も大会もいろんな人が支えてくれています。闘争心や自信ももちろん必要ですが、周りに対する感謝の気持ちや思いやりも大切だと思います。

昨年度、26年ぶりの春高バレー出場など後輩たちの素晴らしい活躍に

とても刺激を受けました。私は今年5月に日立リヴァーレを退団・引退しましたが、香川県の国体選手として再び高校時代の恩師である富士先生の指揮のもとバレーボールが出来るので、本国体出場チーム一丸となって全力で頑張りたいとおもいます。

「広がる選択肢」



平成25年3月
福祉科卒
田中 美咲

私は福祉科の一期生として卒業し、現在は知的障がい児入所施設で働いています。

人と関わる福祉の仕事に就きたい。そんな漠然とした思いで高校に入學した私は、自分の将来について具体的に考えられていませんでした。福祉と一括りに言っても何の仕事があるのか、自分は何がしたいのかが分からず、卒業までにやりたいことをみつけられるのだろうかという不安を抱えていました。そんな私が今の職場を知りきっかけとなったのが、在学中の施設学習です。とても大変な仕事であることは数日しかいなくてもわかりましたが、子どもたちはかわいく、職員の方々のやりがいを持って働く姿が輝いて見えました。こういう施設もあるのかと自分の選択肢が広がった瞬間です。

働きながら嫌になることはありますが、子どもたちはやっぱりかわい

「夢の第一歩」



平成27年3月
家政科卒
池内 千尋

いす。スリッパを脱ぎ捨てる子のために、スリッパを置く場所にマスキングテープで足の形を貼りました。それから毎日、テープの中に綺麗に揃えて並べてあります。「よっしゃあ!」と心の中でガッツポーズです。こういう小さな喜びを感じたときに、自分の選択は間違えてなかったと感じます。

職場には毎年後輩たちが実習に来ます。あの頃の私のように、後輩たちの選択肢も広がれば良いなと思います。

私は平成二十七年三月に高松南高校の家政科を卒業しました。そこから大阪の服飾専門学校でデザインを三年間学び、現在は大阪で子ども服メーカーの企業へ就職し、デザイナーとして第一歩を踏み出しました。

私は、小さい頃から絵を描くことや、ミシンや、手ぬいでのような物を作ったりすることが大好きでした。高校で家政科を選んだのも服を作ったりできるからでした。家政科に入った当初は夢もなく、ただ高校生活を楽しくもうと考えながら過ごしていました。実際、高校生活は本当に楽しく、かけがえのない友達もでき、充実した毎日を送っていました。

私に夢をもたせてくれたきっかけとして高松市で行われたリメイクコンテストに応募して高松市長賞をいただけたことです。この時、もっともっとデザインのことや服について学びたいと思いました。

専門学校では、服づくりの基本から高度な技術まで学びました。また、百貨店で自分のブランドのハンドメイドアクセサリーを出店させてもらえたり、関西コレクションで自分がデザインから完成させた作品を発表できたり卒業作品展では自分の作品を評価してもらい、素晴らしい賞もいただけました。専門学校での生活は喜びもありましたが、周りの才能に押しつぶされそうになったりと苦しい気持ちのほうが多く、くじけそうになったとき、地元に戻ると、なにも変わらず接してくれる、友達がいってくれたからこそ乗り越えてきました。

今、私がデザイナーとして知られるのは、高校で夢を見つけ、あきらめず信じてきたことと、かけがえのない一生の友達をもてたことだと思います。

デザイナーとして一歩を踏み出せた今でも、まだまだ勉強途中なので学ぶところはたくさんあります。子ども服デザイナーとして、子どもたちの毎日を明るく楽しい日々の手助けになれるよう一日でもはやく自分のデザインができるように頑張りたいと思います。

平成二十九年度 主な部活動成績

ソフトボール部(女子)

○県総体 準優勝 (四国大会出場)
○県新人 優勝 (全国大会出場)



○県選手権 団体 優勝
○県新人 個人 優勝

○県新人戦 団体 優勝
個人 優勝



剣道部(男子)

○県総体 団体 ベスト8
○県総体 個人 3位、ベスト8 (四国大会出場)

バレーボール部

○県総体 優勝 (四国・全国大会出場)
○県選手権 優勝 (全国大会出場)
○県新人 優勝 (四国大会優勝)

剣道部(女子)

○県総体 個人 3位 (四国大会出場)
○県総体 団体 準優勝 (四国大会出場)

ハンドボール部(男子)

○県新人 4位
○県新人戦 団体 3位
ダブルス 3位

相撲部

○県総体 団体 優勝
個人 優勝 (四国・全国大会出場)

テニス部

○県新人戦 団体 3位
ダブルス 3位
○県総体 団体 3位

(四国大会出場)
○県夏季大会 団体 3位

バスケットボール部(女子)

○県総体 ベスト4
○選抜大会県予選 ベスト4
○県新人 ベスト4

水球部

○県総体 優勝 (四国大会優勝・全国大会出場)
○県新人 優勝

サッカー部

○県総体 ベスト8
○県選手権 ベスト4
○県新人 ベスト4

弓道部

○県新人 男子個人 優勝

書道部

○全国高校書道展 特選
○国際高校生選抜書展 優秀賞 入選
○国際高校生選抜書展 優秀賞

写真部

○県総文祭展覧会写真展 奨励賞
○香川女性写真コンテスト (高校の部) 最優秀賞
○高校弓道マガジン フォトコンテスト 最優秀

吹奏楽部

○全日本吹奏楽コンクール 香川県大会 銀賞
○管楽合奏コンテスト 優秀賞

環境科学部

○日本学校農業クラブ 農業鑑定競技会 全国大会 優秀賞
コンクリート甲子園 総合3位
平板測量競技会 全国大会 優秀賞

美術部

○県総文祭展覧会平面部門 優秀賞
第8回たかまつ 緑のカーテンコンテスト 入賞

合唱部

○県総文祭音楽会 文化連盟賞

平成30年度

南 高 祭

テーマ 『50ing!~南高校我らあり~』

9月8日(土)

9:30~15:30

(終日一般公開)

バザー、野外展示、教室展示、ステージ発表、看護科展、環境科学科展、生活デザイン科展、福祉科展、環境科学科園芸コース即売、家政科服飾コースコスチュームショー等



中国雑技団 公演!

本年度は香川高校への校名変更七十年、高松南高校への校名変更五十年となります。それを記念して中国雑技団の常玉星さん他の公演が決まりました。常玉星さんは中国雑技団で学んだ「飛叉」の達人で、棒を操らせたら右に出る者なしと言われていました。「ハッスルマッスル」公演に出演するほか、現在テレビなどでも活躍されています。当日は「変面」を披露してください。そうす。日時は九月八日(文化祭公開日)十五時より、場所は北体育館となっています。今から当日が楽しみです。

ヒマラヤ杉二世

平成二十六年に移植したヒマラヤ杉ですが、うまく根付かず、このままでは朽ちる見込みとなりました。そして安全面なども考慮したうえで、一月十三日に伐採されました。今後



は机やベンチなどに加工される予定です。百年余りの間、南高を見守ってくれ、シンボルともなったヒマラヤ杉がなくなるのはとても寂しいことです。しかしその跡地にヒマラヤ杉の二世が植樹されました。これは本校環境科学科元職員の末澤光英氏が中心となり、伐採されたヒマラヤ杉の種から育てたものだそうで、まさに「子孫」です。このヒマラヤ杉が次の百年に向けて大きく成長し、新たな南高のシンボルとなってくれることを希望します。

また、先のヒマラヤ杉を記念し、記念碑が建立されました。石は立派で形の良い庵治石です。

ヒマラヤ杉二世の植樹には末澤保理事、そして記念碑設置には、ヒマラヤ杉にひとかたならぬ思いをお持ちの河野祝之顧問、町川俊博副会長よりの多大なご尽力がありました。この他多くの方々の母校愛によって、南高に新しい名所ができました。この場をお借りして御礼を申し上げます。

校舎改築工事について

現在も進行中の校舎改築ですが、昨年度の本会報でもお伝えした通り、現在第一校舎西側が完成し、稼働中です。そして現在は東側を建築中です。予定では十二月完成、内装工事ののち、来年三月に引越となり、新校舎の全貌が明らかになります。来年度の本会報でその内容をお伝えしたいと思っています。



お悔み

香友会理事の川崎秀雄様が平成三十年三月十二日、永眠されました。

川崎様は昭和二十八年に本校を卒業されました。その後理事として、長年にわたり香友会発展にご尽力されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

高松南高等学校吹奏楽部 第39回定期演奏会

指揮/石原 修
前田 佳保
豊嶋 舞

演奏曲目
*吹奏楽のためのランナー・オブ・ザ・スピリット (久石 譲)
*歌劇「マノン・レスコー」より (G.プッチーニ)
*風箏〜あすかのテーマ〜 (大島ミチ子) 他

ゲスト 山口 裕加 (オーガニゼーション)

主催 高松南高等学校吹奏楽部 OB会 後援 香川県吹奏楽連盟

【日時】2018年8月27日(月)
【開場】18:00 【開演】18:30
【会場】サンポートホール高松 大ホール

【日時】2018年8月27日(月)
【開場】18:00 【開演】18:30
【会場】サンポートホール高松・大ホール

主催/高松南高等学校吹奏楽部 OB会 後援/香川県吹奏楽連盟



平成30年度香友会評議員会及び 総会の開催について(ご案内)

向暑の候、会員各位におかれましては益々ご健勝にてご活躍のことと、お慶び申し上げます。
さて、例年のとおり、同窓会(香友会)の通常総会を下記日程にて開催いたしますので、友人、知人、
お誘い合わせの上で出席くださるようご案内申し上げます。

本年は文化祭公開日に開催するので例年とは違います。お気をつけください。

- | | | | |
|-------|---|-------|--|
| 1. 日時 | 平成30年9月8日(土) 16:15～ | 2. 場所 | 評議員会・総会 田村神社会館
懇親会 田村神社会館 |
| 3. 日程 | 15:50～16:15 受付
16:15～17:00 評議員会・総会
17:00～ 懇親会 | 4. 議事 | ①平成29年度事業報告並びに会計決算報告
②平成30年度事業計画案並びに会計予算案
③その他 |

- 恐れ入りますが、準備の都合上、ご出席の有無を**8月20日(月)**までに、電話、ファックス等で事務局までご連絡下さい。
- 懇親会の会費(4,000円)は、当日徴収させていただきます。

香川県立高松南高等学校香友会事務局

亀田 直樹

TEL (087)885-1131 FAX (087)885-1133

✂ 切り取り線 ✂

FAX送付書(高松南高等学校 FAX番号087-885-1133)

平成30年 月 日

香川県立高松南高等学校香友会事務局宛

送信者ご芳名 _____
ご住所 _____
TEL _____

平成30年度香友会総会(9月8日)16:15～

() 出席します () 欠席します

平成30年度香友会懇親会(9月8日)17:00～

() 出席します () 欠席します

・その他連絡事項